



料理で親と子のふれあい

「母と子の料理教室」が8月17日、中央公民館で開かれました。主催は食生活改善推進協議会。当日は町内の親子32名が参加しました。今回の料理はハヤシライスとサラダ、そしてミルクケーキです。むずかしいところはお母さんの手助けを受けながらやっと出来上がり。自分で作った料理に舌つづみを打っていました。この教室は石岡保健所管内持回りで開いてきましたが、大へん評判が良いので3年前から夏休みを利用して町独自で行うことに。料理を通した親子のふれあいに大喜びでした。



学校週五日制をどう生かすか



いよいよ学校週五日制がスタートしました。九月から月一回土曜日が休みになります。明治以来の学校六日制から五日制へ画期的な移行となりました。五日制導入にともない子どもの学習スタイルや生活スタイルがどう変わるのか。また家庭や地域がどう対応しているか、みなさんともに考えたいと思います。

そこで今回は「学校週五日制をどう生かすか」と題して、校長、PTA代表、主婦、町社会教育指導員の方々に集まっていただけ、座談会を開きました。その内容を要約し紹介いたします。

司会 最初に学校週五日制のねらいについて教育長にお聞きします。

教育長 一つは、世の中全体が週休二日制の普及・拡大にむけて変化しており、学校もこうした社会の変化に対応していかなければならないからです。二つめは、五日制を導入することによって、働きすぎやゆとりのない生活から、家庭や地域の教育力を回復し、その活性化を図ると共に子どもたちにも時間的、精神的なゆとりを与えることが必要になってきたのです。五日制の中心的なねらいは、

- 1、社会の変化への対応
- 2、家庭や地域の教育力の回復と活性化

3、子どもたちの過密な生活実態の緩和の三つです。

さらに、具体的なねらいを次のように考えました。(1)子どもの生活にゆとりを与えること (2)家庭における親子のふれあいを深めること (3)自然に親しむ活動や体験学習をさせること (4)地域活動(スポーツ、文化、奉仕)に参加させること、学力の維持向上や子どもたちの学習負担の問題は、これらのねらいと合わせて最も重要な留意事項です。

鈴木央 学校の立場としては、町内小中の十五校足並みをそろえて対応していこうと、五日制検討

委員会という校長会の諮問機関をつくり、研究を重ねてまいりました。委員会の中味は、保護者や小学三年生以上から中学三年までの児童と生徒、そして教職員がどう

いう考えを持っているかといったことの調査研究。ほかに、学校が土曜日月一回休みになるからその授業をどう振り分けるか。学力を低下させたり、月曜から金曜日までの学習負担にならないようにするにはどうすべきか。児童や生徒への土曜、日曜日の過ごし方の指導。土曜日保護者が家庭にいない子どもへの対応などごまごまとした内容について検討を加えてきました。

週五日制賛成は75%台

鈴木重 社会教育の面から五日

制をとらえると、より一層生涯学習体制づくりを充実させなければとの意を強く感じております。広く児童、生徒を中に入れた乳児期から高齢者までの文字通りの生涯を通した学習体制づくり。その環境整備ということでの生涯学習推進体制づくりにとめていきたいと思っております。そこで家庭や地域の教育力を高めるにはどうすべきかをみなさんと検討し、具体策を見いだせたらと考えています。

司会 PTAでは、五日制に対する話し合いなどをしましたか。

真家 話題にはのほほっています。がまだなんです。PTA以外の子ども会やスポーツ少年団などの団体と協力しながら、休みを無為に過ごすことがないようにすることがいまの状態では一番だと思えます。また、土日連休をとれる親が八郷でどれくらいいるか教えていただきたいんです。

潮田 学校からのアンケート調査の時、子どもたちと話し合いました。小学生は単に休めるというだけで喜んでいますが、中学三年の子は土曜日にする勉強分が、ほかの日に負担になってくるんじゃないかと心配していました。私はアン

ケートに対しては、環境が整うなら賛成と回答しました。

スポーツとか奉仕活動へ参加する機会がふえますが、土曜日に休める保護者や指導者の方も必要になってきます。そういう方々がどれだけ協力してくださるか、ということも課題じゃないでしょうか。

教育長 学校で実施したアンケートの結果と、検討委員会で検討された事柄を話してください。

鈴木重 保護者のみなさんへの意識調査の結果は、五日制について賛成者もありますし、また反対という方もあります。

毎週土日連休が賛成。月〜二回なら賛成。条件つき賛成の三つを合わせると全体の七五パーセントが賛成。それに対して反対が二パーセントという数字になっています。条件つき賛成には、月曜



真家 弥太郎さん

から金曜日までの学習が負担過重にならないこと、世の中全体が連休になってくればという条件、学力が低下しないよう工夫をしてくれればという条件、もう一つは、社会教育施設等の充実ということがあげられております。

保護者が家庭にいないという項目は作らなかったんですが、郡内の調査を見ると、両親が土曜日休みをとれない方は一七パーセント。その中で祖父父母など誰も家にいないという方が一〇%以内です。八郷と同じような村の結果ですから参考になると思います。

保護者の賛成の理由としては、「子どもの自由時間がふえる」が一位、二番目は「親子で一緒に過ごす時がふえる」、三番目は「土曜日が休みになっても子どもの学力が低下するとは思えない」などがあります。

また、子どもたちは「土曜日と



出席者

(順不同・敬称略)

- 潮田八重子 大増・主婦
- 真家弥太郎 部原・町PTA連絡協議会長
- 本 亨 吉生・町教育長
- 鈴木 央 下林・柿岡小学校長
- 鈴木 重喜 下林・社会教育指導員
- 上 曾 忠 町秘書広聴課長(司会)

ると、始業式や終業式に授業をしたり、家庭訪問を夏休みに回したりすることはありませんか。

う過ごしますか」の問いに対し、小学生は「友だちと遊ぶ」が一番多いです。「午前中は家で友だちと遊び、午後はいこや塾にゆつくり行ける」というのが二番目。三番目は「特技・スポーツをする時間がふえる」ほかに「ゆつくり休養したい」が出ています。中学生では「ゆつくり休養したい」が一番。「読書とかパソコンなど趣味をしてみたい」が二番目。三番目は「友達とゆつくり遊びたい」そして四番目は「家で勉強したい」が主な回答になっています。

司会 いままで週六日間でしたきた授業を五日間ですることになり、始業式や終業式に授業をしたり、家庭訪問を夏休みに回したりすることはありませんか。

子どもはのんびり過ごしたい

教育長 月二回になった時、七夕集会のようなものを学校で取り上げず、休みの土曜日に振りむけていけば、学校の教育課程がマイナスになるようなことはないという訳ですね。

司会 土曜日が月二回休みになった場合、学校行事が精選される。PTAもその受け皿づくりを考えないとダメですね。

真家 スポーツ中心にした対応というのは初期の段階であって、七夕・豆まき・タコあげ集会を地区全体で行うとなると、指導される方が不足していて現状ではとてもむずかしい。スポーツを指導される方は各地区にもいるんですが、文化的な面での指導員の養成とあわせて活躍の場がないというのが感じられます。いろんな興味を引き出せる場づくりを推進できれば一番いいんじゃないかと思います。

鈴木重 モデル地区でご苦労なさった町村の姿を見ると、地域社会で子どもたちを一堂に会してスポーツあるいは文化事業を行う時、指導員の問題があるんです。結局指導者の数が少ないため、その体制づくりが指導者側から壊れていくというよう。だから行政としても、その辺を踏まえた上で、

子どもたちの環境づくりには対応していくつもりでおるんです。

教育長 教育新聞のアンケート調査結果によりますと、小中高校生で土曜日に一番したくないものは勉強、その次がお手伝い。そして小中高校生とも「のんびり過ごしたい」というのが五〇パーセントを占めているんです。

いま子ども会やスポーツ少年団が活発に行われていますが、あれは子どもサイドから生まれた発想なのかどうかと思うんです。同じ七夕集会であっても六年生がリーダーになって、低学年を面倒みながら行っていくけば、その経験を通してタテ割社会を学び、自主性も育つんです。

次に、「文化面で見学したいところは」の問いに、小中学生は動物園、植物園、水族館と答え、「見

学したくない場所は」の問いに、博物館、資料館、美術館と答えています。ですから子どもたちは、スポーツ、野外遊び、のんびり過ごしたいというのが結果に出ています。

親が子どもたちになにかしてあげなければ、こうしなきゃならんという時に、大人たちの知恵もあるけれど、子どもたちの知恵を出す場面を考えてやることも受け皿ではないかなと、思うこともあるんです。

真家 勝田市の例ですが、保護者同士でお金を出し合い、空き家を

魅力ある子ども会の運営を

潮田 小学生はそんなでもないですけど、中学生になると勉強と部活にすごく時間をとられちゃって全然余裕ない現状です。折角休みになる土曜日は、朝から晩まで寝ていようが、マンガを読んでいるようが、黙って見守っているのが親として一番いい方法かなと思

いながら話を聞いていました。

司会 五日制になって部活動の練習量がふえたりしないんですか。

鈴木重 土曜日を休みにしたのねらいを考えれば、登校させて部活動を実施させることは反対の方向になってしまふ。四中学校の校長先生が話し合った結果、土曜日の

借りて、学校から帰ってきて夕方まで、いわゆる鍵っ子を面倒みるんです。宿題みてやったり、庭中泥だらけになって遊ばせたり、穴掘りやらせたりして好きなことさせてるんです。夏休みに訪ねたところ、子どもたちが実にのびのびとして過ごしているんです。土曜日を家庭の中で対応できれば一番なんです。どうしてもできない子どもたちに、自由にきて安心して過ごせるような場所、例えば地区公民館とかを確保し、遊ばせながら焼きものや絵の描き方を教えることもいいかなと思うんです。

部活動は原則としてやらない方向に進むようです。しかし、秋の新人戦とか、春の中学校総合体育大会前には、練習をすることがあるかもしれせん。

さきほど子ども会の話が出ましたが、アンケートに子ども会や地域の活動に参加するという項目があります。それによると小学生で二・五パーセント、中学生で五・二パーセントと非常に少ない訳です。子どもの意識の中に、子ども

会のいろいろな活動が魅力的でないというふうに言えるかなと思うんです。反面海水浴やプールに行ったり、キャンプに行ったりとい



鈴木 重喜さん

うような行事には喜々として参加する訳です。魅力を感じないのは、父母が計画・運営をして、敷いたレールの上を子どもたちがただ乗っかって走っていくという状況であるからかなと思うんです。

失敗を恐れずに子ども自身に計画・運営をさせて、父母は脇で見ているといった姿勢に子ども会を変えていけば、子どもたちも魅力を感じるんじゃないかと。

また、教師は学校では学校教育に携わっておりますが、地域に帰れば一般社会人としていろいろな体育面・文化面への貢献ができるかと思ひます。子どもを導く専門家ですので、うまく子どもに主体性をあずけて指導してくれるはずなんです。教職員の活用をもお考え願えればと思います。

鈴木重 知名度の高い指導者だけを望むんじゃないかと、スポーツや文化面で相談に乗れる先輩などを生かす努力も大切でしょう。



潮田 八重子さん



鈴木 央さん

日制を育てあげていく必要があるんです。

司会 子どもの休日を楽しめるのには誰もが願っていることですが、休日の指導は当然各家庭によって行われることになり、いままです以上に指導力の強化が要求されるんじゃないでしょうか。それから土日連休になると子どもたちの生活のリズムに変化が出てくると思うんですが。

五日制が生涯学習の一端とするならば「自己教育力」を高めることと理解します。自分自身で自分を育てていく教育。基調になるのは自主性で、外から子どもを抑えたり、手を加えてしまうことは、はなはだ意に反する行為行動なんですよ。子どもの力で自己を発見し、自己を出現していくんだというところに視点を置いてこの五

世代を超えて地域間の交流

教育長 父親が長距離トラックの運転手でした。いつも朝早く車に乗って家を出かけると感じていました。夏休みに父親と同乗した子どもは、父親の職業が大変だということが分かったという話があります。休みを利用して家の仕事を手伝ったり、会社訪問したりして親の職業を理解することもいいんじゃないでしょうか。

また、地域のお年寄りに協力的

なことできないとか、缶切り使えないとか、よく聞きます。そういう意味では、竹トンボづくりにかッター使って手を切ったっていいじゃないかって。これしちゃあぶない、あれしちゃう危険だって、やる前に親のほうがあまりにも過保護になるところがあります。到底学校ではできない勉強をこの機会に、地域のおじいちゃんなどから

世代を超えて伝統工芸などを教えていただく。すべてがスピード化している中、みんなで協力しあつ

豊かでしあわせな生活環境を

司会 最後にみなさんから一言ずつお伺いしたいと思います。

鈴木重 五日制実施にあたりまして、ご家庭と学校の中間役として、連絡係としてお手伝いしてまいります。五日制定着にむけて、子どもたちを中心に、親たち、ご近所、学校、町全体がよりよい環境づくりに努めていたきたいと思

鈴木央 教育について新聞テレビなどに出てくるのは、登校拒否、五日制、生涯学習の三つが多いような気がします。それについて自分たちはなにができるかを考えることだと思

学校は保護者の方が心配している学力や非行の問題を真剣に対処

てなにかをはじめようとする、すこく大事だなって感じます。

真家 指導者の話で思い出したんですが、勝田市で子どもも預っていてひと夏通しても大きな団体にならないというんです。小さい集団三〜四人の、そういう集団はいくつかできるというんです。

教育長 平等の原則が優先されてタテ割の社会がなじまないの、どうしようか。小学校の掃除当番や集団登下校などタテ割で行い、組織の大切さも学んでいるんですがね。

していきます。家庭は小さいうちから基本的な生活習慣をつけていくことです。特に思いやりの心や勤労の心など、人間として必要な心を育てていただきたいのです。それらは学校でというより家庭で育つものではないでしょうか。社会教育では、子ども会やスポーツ団体、その他の活動を通し社会性を培っていただきます。やはり地域社会を背負って立つ子どもたちなんですから

生活習慣、行事、歴史を知り体験することにより、八郷町をよくしていきたいというような心を、小さいうちから育てていきたいと考えております。

真家 もう一度子どもの視点に帰って親どうしが勉強し対応して

いただければ、五日制が有効に生かせるんじゃないかと思

潮田 「ゆっくり休みみたい」が子どもたちの要望であることを念頭に置きまして、地域の中でお手伝いすることがあれば少しでも協力させていただき、子どもたちと一緒に過ごしてみたいと思

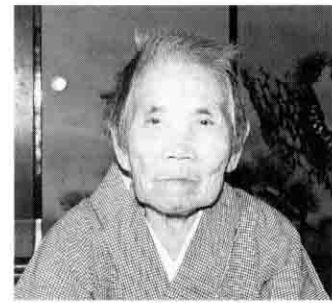
教育長 家庭と地域教育力の欠如が指摘されている中で学校五日制、週休二日制が取り入れられしました。今後は家庭二日制であると置き換えていただき、家庭や地域で子どもたちを育てていくために、どう模索し努力していくか、知恵を出し合っていかなければなりません。親は働きすぎ、子どもは勉強しすぎでゆとりがありません。それでほんとうに豊かでしあわせなのかなと思う時があります。



本郷 亨教育長

学校週五日制の趣旨を十分生かすために、学校はもちろん、家庭地域など関係者の方々のご協力を心からお願いたします。

身の回りは自分で



富田かつさん (99)

食事をバランスよく



梅澤 たねさん (99)

年中草とりをする



斉藤すてさん (99)

気はせいも自由にふらふ



生井あきさん (98)

酒を毎日二合飲む



久保田静一さん (97)

朝は牛乳食事はおかげ



伊藤てつさん (97)

敬老の日

長寿社会は元気に楽しく

九月十五日は敬老の日。町では、地区公民館主催により七十歳以上の方三千五百一名を招待して、町内九会場で敬老会を開き、長寿の祝いをしました。また、八十歳以上の方一千六十七名に、町から長寿を祝う赤い座ぶとんと敬老祝金が贈られ、さらに八十八歳四十六人の方に県から褒状と記念品が贈られました。人生まさに八十年の長寿社会。健康で生きがいのある一生を元気に送りたいものです。

百歳達成者は富田、梅澤さんのふたり

六十五歳以上(八月一日現在)

の方は、昨年度より二百六十三人ふえて五千二百五十七人となり、町全体の一七・四パーセント、五人に一人が六十五歳以上で占められております。全国的な傾向になつている高齢化が町でも一段と進みました。

ことしは九十歳以上(明治三十五年十二月三十一日以前生まれ)の方が昨年度より五人減つて百二人となりました。男女別では、男性が三十二人(三二パーセント)、女性が七十人(六九パーセント)で、昨年度とほぼ同じ比率です。

町の最高齢者は、上曾の富田かつさんで、ことしの十一月一日の誕生日を迎えると百歳になります。二番目は瓦谷の梅澤たねさんで、同じく十二月二十日を迎えると百歳になります。二人は百歳達成者(明治二十五年四月一日から明治二十六年三月三十一日の間に生ま

れた方)として内閣総理大臣から長寿をたたえる祝状と記念品が贈られました。

富田さんは非常に元気に過ごしており、家族七人全員の洗濯物をたたむことが日課だそうです。もちろんフトンを敷いたりおふろに入つたりの身の回りは、人の手を借りず自分ひとりですんでいます。

梅澤さんも毎日三度の食事をきちんとして、栄養のバランスを考えながら家族と同じメニューのものを食べています。好き嫌いなくなんでも食べ、何事にもよくよしないのが長寿の秘けつとか。

男性の最高齢は山崎の久保田静一さん。十一月九日の誕生日を迎えると九十八歳になります。奥さんのたかさん(九十二歳)とともに仲むつまじく暮らしています。

長寿社会の中で、お年寄りの介護など全町民の協力体制が不可欠です。町でもひとり暮らしのお年寄りのために、九月一日から緊急通報システム(詳細は九ページ)を導入し安全確保に努めています。

長寿・おめでとうございます

順位	名	名(世帯主)	性別	年齢	住所
1	富田	かつ(文男)	女	99	上曾
2	梅澤	たね(清一)	女	99	瓦谷
3	齊藤	すて(豊一)	女	99	吉生
4	生井	あき(治男)	女	98	川又
5	久保田	静一(守)	男	97	山崎
6	伊藤	てつ(唯雄)	女	97	東成井
7	奥村	つま(末雄)	女	97	東成井
8	植木	こう(博)	女	97	小倉
9	大凶	たみ(孝義)	女	97	中戸
10	大和田	やい(弘)	女	96	東成井
11	谷仲	覚雄(正)	男	95	太田
12	飯田	たか(栄)	女	95	小幡
13	齊藤	かく(清一)	女	95	下林
14	小松崎	さい(吉則)	女	94	川又
15	井坂	りう(市村吉正)	女	94	小幡
16	前澤	平太郎(平太郎)	男	94	上曾
17	小谷田	房吉(寿雄)	男	94	大増
18	伊勢山	ひて(衆雄)	女	94	東成井
19	友常	とし(弘)	女	94	月岡
20	関	文吾(文吾)	男	94	半田
21	瀧田	源三郎(源三郎)	男	94	柿岡
22	藤代	さい(克)	女	93	小山田
23	仲村	あさ(重雄)	女	93	菖蒲沢
24	鈴木	い久(秀夫)	女	93	太田
25	真家	只吉(正一)	男	93	真家
26	友常	梅男(博)	男	93	月岡
27	土田	くら(善一郎)	女	93	柿岡
28	廣瀬	きみ(憲一)	女	93	太田
29	長谷川	きん(貴一)	女	93	真家
30	上野	たか(和男)	女	93	小屋
31	磯山	たみ(勉)	女	93	部原
32	稲見	保之(康男)	男	92	宇治会
33	原田	善助(隆)	男	92	半田
34	久保田	たか(守)	女	92	山崎
35	稲田	さく(正四郎)	女	92	小埜
36	櫻井	くら(勇)	女	92	上青柳
37	荒井	政雄(重雄)	男	92	山崎
38	来栖	國勝(義雄)	男	92	中戸
39	鎌田	ふじ(由)	女	92	柿岡
40	猫崎	福力(操)	男	92	宮ヶ崎
41	羽生	薫(幸衛)	男	92	上青柳
42	比企	ぶん(正雄)	女	92	小埜
43	脇	政子(大八郎)	女	92	柿岡
44	藤岡	よ志(よ志)	女	92	太田
45	宮	もと(重雄)	女	92	真家
46	吉田	瀬一(寛)	男	92	瓦谷
47	鈴木	とし(源兵衛)	女	92	山崎

順位	氏	名(世帯主)	性別	年齢	住所
48	富田	きく(篤夫)	女	92	下青柳
49	大槻	ちう(光一)	女	91	山崎
50	菊地	志ま(保)	女	91	大塚
51	青山	ヤト(誠治)	女	91	山崎
52	矢口	清一(恒太郎)	男	91	下林
53	神生	まつ(彰)	女	91	吉生
54	藤岡	安(正光)	女	91	太田
55	石上	とみ(建夫)	女	91	月岡
56	高橋	クニ(泰)	女	91	下青柳
57	今井	きく(一夫)	女	91	小幡
58	鈴木	さい(敏夫)	女	91	瓦谷
59	中澤	ま津(仁平)	女	91	柿岡
60	古内	もと(廣志)	女	91	柿岡
61	山田	なつ(三樹郎)	女	91	東成井
62	保科	なか(まさ子)	女	91	中戸
63	高野	敬重(幸雄)	男	91	小見
64	内山	政雄(一彦)	男	91	大増
65	飯塚	良政(隆)	男	91	下林
66	宇田	貞次(勇)	男	91	大塚
67	廣瀬	い志(喜代子)	女	91	須釜
68	岡野	耕作(重巳)	男	91	大塚
69	菱沼	さた(定夫)	女	91	東成井
70	市村	長(政利)	男	91	須釜
71	横尾	もと(清)	女	90	片野
72	鈴木	せん(清一)	女	90	宮ヶ崎
73	谷田部	なか(藤一郎)	女	90	柿岡
74	原田	たけ(清)	女	90	半田
75	松川	よし(瀧)	女	90	柿岡
76	前澤	ちよ(平太郎)	女	90	上曾
77	土師	徳三(徳三)	男	90	真家
78	塚田	たい(恒夫)	女	90	柿岡
79	渡辺	こう(志つ)	女	90	柿岡
80	原田	くら(隆)	女	90	半田
81	飯田	徳次(眞一)	男	90	小幡
82	神生	せい(雅夫)	女	90	吉生
83	久保田	よし(謙一)	女	90	太田
84	小松崎	なを(芳栄)	女	90	柿岡
85	佐々木	ツモル(ツモル)	女	90	下林
86	齊藤	のぶ(光男)	女	90	上曾
87	海東	みち(仁)	女	90	上青柳
88	鈴木	とき(博)	女	90	小幡
89	木村	延助(重一)	男	90	上曾
90	広瀬	てつ(元春)	女	90	宇治会
91	足立	七郎(政男)	男	90	上曾
92	山崎	ひて(孝一)	女	90	吉生
93	広瀬	重喜(和巳)	男	90	須釜

平成4年9月1日現在満90歳以上(敬称略)

町立柿岡中学校

夏休み後半の土曜日、午前六時三十分、三年生親子三百五十数名の草刈りが始まりました。草払い機や鎌での草刈り。大ノコでブラタナスの枝おろし。刈込鋏で花ツゲとドウダンツツジの刈り込み。草をトラックに積み、大穴で燃やす。二時間半後、学校中床屋にかかったような爽快感。親子そろっての作業とあって毎月の愛校作業とは違う充実感がありました。

本校（飯塚栄校長、生徒数五百二十名）では一学期、体力づくりを力を入れています。目指すは総体制制覇。本年度は野球部、女子バレー部、男子柔道個人の部が郡、県南大会を勝ち抜き県大会に出場。いまは、一・二年生が十月の新人戦にむけ練習に余念がありません。



二学期は学力増進の時期。教師は分かる授業の実践、生徒は自ら学ぶ意欲をもって学習に励みます。九月の運動会では全校生によるドミノ倒しが人気を呼んでいます。

愛校作業で美しく きれいな学校に



二学期にむけて三年生親子による美化作業が行われた

十一月の文化祭では、合唱コンクール、作文、絵画、研究発表など、生徒会の自主的運営と個性の発想の場になっています。

三学期の重点は進路指導です。校長、教頭をはじめ全職員が学習相談に当たっています。生徒ひとりひとりの適性に合った進路選択とそのクリアーを目指します。

P.T.A.（桜井修二会長）の活動も盛んです。八月の研修視察は、各学年大型バス一台、計三百がほぼ満席になり、長野方面へ一泊二

日で実施しました。全体会に続く学年別懇談会では、教育、文化、経済、世界情勢など大いに語り合い、学校と保護者との相互理解をはかることができました。

昭和三十一年、旧林中、芦穂中、柿岡中の統合以来二十八年間、①健康な生徒②明るい生徒③よいことばの生徒④考える生徒⑤実践力のある生徒という生徒像を掲げ、P.T.A.、地域のかたがたのご協力をいただき、二十一世紀に生きる生徒の育成に努めています。

町長の日記帳から



八月の主な動向はつぎのとおりです。

高校生の事故をゼロに

桜井盾夫

三日(月)つくば遊都二十一日総会
四日(火)子ども会育成会球技大会
町づくり対話教室

土浦一高P.T.A.会長の役にあ
る関係上、全国高等学校P.T.A.
連合会総会熊本大会に参加して
きました。八郷高校のP.T.A.会
長金敷義夫氏と会場で遭遇。

五日(水)県幼年少年婦人防火大会、
つくば・笠間市間道路整備促進
協議会
七日(金)区長会役員会

大会では家庭教育・生涯学習
の振興と充実、学校週五日制の
推進などが話題となりました。

八日(土)小幡小学校「小平記念教
育資金」授賞祝賀会
十日(月)県庁へ、補助事業打ち合
わせ

特に高校生のバイクによる交
通事故が多発しているため「高
校生活にバイクは不要」の特別
決議がされました。「免許を取
らない」「乗らない」「買
わない」の「三ない運動」と「親
は子どもの要求に負けない」推
進の声が圧倒的でした。

十一日(火)庁舎建設特別委員会、
大増地区懇談会
十八日(火)全国ナシ大会報告会、
消防団操法競技選手団結団式

町内での高校生による交通事
故状況は、平成三年の発生件数
十五件、負傷者十五名としてこ
としに入って現在まで発生件数
十四件、負傷者十五名、死者二
名となっています。二十一世紀
を担う高校生たちが死亡したり、
負傷したりすることのないよう
十分気をつけたいものです。

十九日(水)議会全員協議会
二十一日(金)青年農業経営者のつ
どい

二十三日(日)常総学院オーストリ
ア国営放送大賞受賞記念演奏会

故状況は、平成三年の発生件数
十五件、負傷者十五名としてこ
としに入って現在まで発生件数
十四件、負傷者十五名、死者二
名となっています。二十一世紀
を担う高校生たちが死亡したり、
負傷したりすることのないよう
十分気をつけたいものです。

二十四日(月)ふれあいまつり会議
二十七日(木)二十八日(金)全国高
等学校P.T.A.連合会総会

三十一日(月)筑波林業地帯林道整
備促進協議会総会

三十日(日)吉生公民館開館式

三十一日(月)筑波林業地帯林道整
備促進協議会総会

三十一日(月)筑波林業地帯林道整
備促進協議会総会

三十一日(月)筑波林業地帯林道整
備促進協議会総会

三十一日(月)筑波林業地帯林道整
備促進協議会総会

三十一日(月)筑波林業地帯林道整
備促進協議会総会

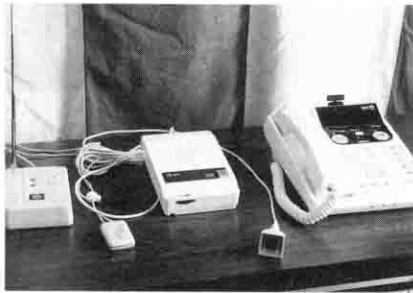
いざという時の安心を！

ひとり暮らしのお年寄りのための緊急通報システム

ひとり暮らしのお年寄りを対象に、八郷町、千代田町、出島村、新治村の四町村と新治地方広域事務組合が進めていた「緊急通報システム事業」が、このほど開通しました。

九月一日に行われた開通式典では、八郷町長をはじめ、関係町村の代表者が出席。テープカット(写真)のあと、緊急システムのスイッチが入られました。

このシステムは、六十五歳以上のひとり暮らしのお年寄りのお宅



に緊急通報用電話機を設置、急病や災害時などに、新治広域事務組合千代田消防署内の受診センターにボタン一つで連絡を取ることができるようで、ひとり暮らしのお年寄りの不安を解消、安心して暮らしていただくというものです。

今回、同システムが設置されたのは四町村合わせて四十八世帯、八郷町では十八世帯に設置されました。経費は総事業費三百九十九万九千円。内百九十九万円が県からの補助、残り二百九十九万円を広域事務組合が負担しています。また、各世帯への電話機設置の経費は、一台十万七千七百円、内国と県からそれぞれ二万二千円の補助があり残り六万三千七百円を町が負担しています。

現在、町には百五十四人のひとり暮らしのお年寄りがおり、五年計画で、この全世帯に電話機を設置していく予定です。



緊急通報システムのしくみ

一、急病など緊急事態が発生し、電話機の非常用ボタンを押すと、千代田消防署の受診センターを呼びだし、自動的に通報します。

二、受診センターで、通報を受けると同時に通報者の情報が、自動的にコンピュータの画面に表示されます。これを受けて受診センターでは通報者が緊急事態にあるかどうかを確認します。

三、画面を見ながら、あらかじめ登録してある近所の人などの協力者をボタン一つで呼び出し、出向の要請をします。

四、出向の要請を受けた協力者は、ただちに緊急通報者宅へかけつけ必要に応じて消防署や警察署へ通報します。

同電話機は、首にかけられるペンダント式の装置などから通報もでき、いざというときに安心です。

花と緑の楽園
茨城県 フラワーパーク

秋バラまつり 多彩なもよおし



いよいよ行楽の秋、「花と緑の楽園」茨城県フラワーパークでは、九月二十七日から十一月十五日まで「秋バラまつり」を開催いたします。総面積十二万平方メートルの広さを誇る園内では、茨城県の県花で、当園のメインの花でもある五百品種、三万株の世界のバラが鮮やかに咲き誇り、ご来園の皆様のお目を楽しませます。

また、期間中はさまざまな催し物を開催いたします。

主な催し物として、秋バラ祭り期間中の園内のスナップ写真などを募集する「アマチュア写真コンテスト」(応募期間十一月三十日まで)。各種バラ苗などを多数取りそろえて即売する

「バラ苗即売会」。また、十月十日には卓上花の作り方の「フラワーデザイン教室」を開催します。十月十一日の午前十一時と午後二時からの二回、お子様に大人気の「特捜エクシードラフトショー」を、十月十四日から十八日の五日間は「イワヒバ展」、十月二十一日から二十五日までは「秋の創作盆栽展」が開催されます。

その他、十一月一日から八日までの「パンフラワー展」、十一月十五日の「ファミリーコンサート」など、ご家族づれで楽しめるイベントを用意して、皆様のご来園をお待ちしています。

なお十月、十一月は無休で開園いたします。

全国でも珍しい前方後方墳

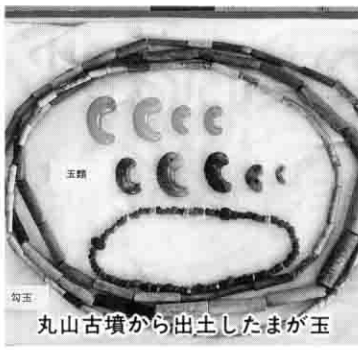
丸山古墳

県指定 昭和27年12月18日

所在地 八郷町大字柿岡字丸山

丸山古墳は、八郷盆地のほぼ中央部の高友丘陵の景勝地にあり、全長六十メートル・高さ七メートルの前方後方墳で、第十代天皇崇神天皇の第一皇子「豊城入彦命」の奥津城と伝承されています。

昭和二十七年十二月に明治大学後藤森一教授の指導の下に、調査が行われた結果、後方部の墳頂下二メートルの地点から粘土床が発見され、内行花文鏡をはじめ銅鏃、勾玉・鉄刀・刀子などの副葬品が出土しました。



丸山古墳から出土したまが玉

これらのことから、丸山古墳は前方後方という珍しい墳形であるとともに、副葬品の内容などから、

四世紀末ごろに築造されたものと思われまふ。県下でも代表的な古式古墳であり、日本の東国古墳時代の研究には欠かせない重要な存在となっています。

排禍ばやし

県指定 昭和38年8月23日

所在地 八郷町大字片野

排禍ばやしといえは、片野のひよつとこ。古くから多くの人々に親しまれ、七月二十一日の片野八幡祭礼日に奉納されていましたが、最近七月第三日曜日に変更されました。様々な苦勞と困難を克服しながら四百年余年の歴史と伝統を守り続けています。

永祿年間（一五五八年）の戦国の世に片野城主太田三楽齋資正が武運を祈願し片野に八幡神社を建立し、諸々の禍を排し繁栄を願う意から排禍ばやしを奉納したと伝えられています。

排禍ばやしは、四種に分かれており、最初が獅子舞です。戦国時代の武家の権力と威厳を表わし、速い囃子に合わせて力強い舞を演じます。

次はおかめの舞。戦国の女性の



忍耐と寛容を表わし、男が女姿でゆつたりと舞う姿は、上品さと楽しさがあり情緒豊かさを感じます。

続いて白狐と赤狐。悪賢さを表わし、遠い囃子に合わせ手足の素早い動きで細かい狐の動きを繰り返す、狐の特徴を演ずる舞はなにか素晴らしいさを感じさせられます。

最後がひよつこの舞。農民が年貢や強制労働であえぐ姿を表わし、軽快な囃子に合わせて滑稽な舞を繰り返します。楽しさと賑やかさが増して、観衆から親しまれる舞を演じます。

囃子手と舞手が意気投合した巧みさが観衆の魅力となり娯楽となつて、今日まで立派に伝統を守り続けられてきた、民族芸能片野排禍ばやしなのです。

十月十日は、伊勢皇大神宮での奉納舞が決定。十七日には茨城ふるさと祭に出場、今では茨城の排禍ばやしとなっています。

●最近気になる病気

動脈硬化症

石岡市医師会病院

内科 坂本

勉医師



日本人の死因の第一位はガン、次に虚血性心疾患、それに脳卒中が続きます。

しかし、この脳卒中や虚血性心疾患は、動脈硬化が原因となつておこる場合が多く、数字の上では、動脈硬化が日本人の死因の第一位ともいえます。

動脈硬化によつておこる代表的な病気は、脳出血、脳梗塞、老年痴呆、狭心症、心筋梗塞などがあります。

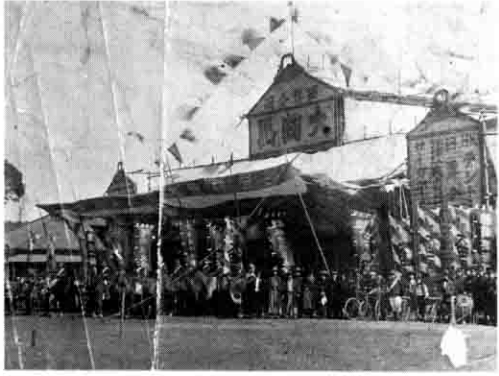
動脈硬化を予防、改善するには、食事、運動、薬剤療法があります。食事で気をつけることは、栄養のバランスをとり、カロリーを取り過ぎないようにする。動物性脂肪は、飽和脂肪酸が多く、取り過ぎると高脂血症となり、植物油は、多価不飽和脂肪酸が多く、これは動脈硬化を抑える働きをします。また、植物繊維はLDLコレステロールを増加させ、肥満を予防し血圧を下げる働きがあります。

高血圧が長く続いたり、高脂血症に高血圧が合併すると、動脈硬化が進行してしまいます。そのため高血圧の人は1日の塩分は六〜八グラムに抑えたほうがよいでしょう。

それと、男性に多い飲酒とタバコについては、アルコール類は血流中の中性脂肪を増加させる働きがあるため、過度の飲酒はやめるべきです。（ストレス解消程度なら良いと思われるが）タバコのニコチンは血中、コレステロールを増加させ心筋梗塞などのハイリスクの一つです。

運動は血液量を増やし、循環を促し心機能を高め新陳代謝を活発にします。年齢、自分の体力にあった、適正な運動を心掛けてください。

これらの食事療法、運動療法でも高脂血症が改善されない場合は、薬によつて血中脂質を低下させたりします。できれば定期的に医療機関を訪れ適正な生活指導および薬剤療法を受けるようにお勧めします。



歴史をさぐる 町ゆかりの人々

(3)

柿岡 春 一 郎

明治の末から大正、昭和の初期にかけて、三百人近くの大サーカス団員を率い、日本中を興行して回ったといわれる柿岡春一郎という人物は、その背景となる地域、時代を考え合わせて見ると、相当にスケールの大きな人物であつたに違いない。

柿岡春一郎、本名は
荒川治次郎。父登、母

千代の二男として、青森県八戸で、明治四年二月二十二日生まれる。父登は八戸の郡役所に勤め、母千代も女看守として勤めていたという。

春一郎の祖父善蔵は、白虎隊で有名な会津若松藩の武士で三百石取の馬廻役であった。会津の戦争では、妻と

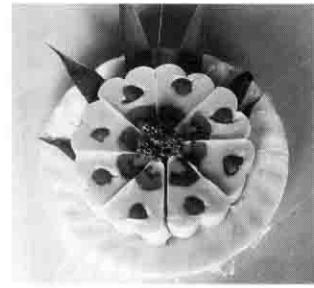
三百人の団員率いて日本中を興行

り、その住所が宇都宮本丸、電話一八一番、東洋一柿岡サーカス団、大正十三年月日と印刷されている。孫にあたり、現在柿岡在住の荒川千代さんは宇都宮高女へ、弟さんは小学校へここから通学されたとのことであるから、ここに一つの拠点があつたと思われる。

昭和二十九年八月二十日、柿岡で亡くなった。八十四歳、墓所は柿岡の善慶寺。

なお今回、荒川千代さん、宇都宮市役所の方、町内の方々にご協力をいただきました。ありがとうございました。

町文化財保護審議委員 田上静子



わたしの味自慢 パンプキンゼリー

食生活改善推進員 友常ひで子・月岡

材料

かぼちゃ500g、牛乳400cc、砂糖70g、塩少々
粉寒天8g、バニラエッセンス少々、キウイフルーツ少々

作り方

- ①かぼちゃは種をとり、薄く切り柔らかく煮て熱いうちに裏ごしをします。
- ②牛乳に寒天を入れてよく混ぜ、火にかけ沸騰したら砂糖をいれてかぼちゃを入れてよく煮詰めます。
- ③容器に流し込み少し冷めたら、果物を飾り出来上がりです。

裏ごしをしたかぼちゃを冷凍しておくトースト、グラタンなどに利用できます。



おが家の子

大久保沙織ちゃん(柿岡)

父 博さん 母 加代子さん
平成1年8月14日生まれ(長女)

♥家族からの一言

歌と自転車のりが大好き。
動物のぬいぐるみが好きでよく話しかけては遊んでいます。
だれにでもやさしく、元気で健康に育ってくれればと思っています。



みんなの広場

このページは、皆さんが作るページです。
あなたのご意見や作品をお待ちしています。



柿岡 松川亜希子 (11)



真家 松本記代子 (10)



柿岡 滝本理恵 (11)



太田 藤岡吉郎 (8)

私も ひまわり

農 業はだれにでもできますから、
どんどん頑張ってもらいたいと思
います。

家の若者たちは、イチゴ、キャベツ、
馬鈴薯、オクラなんでも順を追って栽
培しています。おかげで私は、老いて
もできるだけ、手伝っているのでポケ
にはなりません。

八 月で七十歳を迎えますが、老人
という意識はほとんどなく、日
曜は詩吟、火曜はカラオケ、木曜は民
謡と、趣味を楽しみ、その間は野菜つ
くり、そして月下氷人と多忙です。暑
さに負けずにこの夏もすごしたいもの
です。

大増 森田あい (70歳)

九月十五日は敬老の日、山中さん
も森田さんもお元気なようです
です。広報クイズもお二人のようなこ
年配の方の応募が最近増えてきました。
イラストやこのようなご意見も多くな
ってきています。これからもどしどし

習字コーナー

評 玄潮会 森 浩亭

柿岡小一年 よしおかのぶこ

よしおかのぶこ
ぎしぐら

明るくて、せいけつに書けてい
ます。

柿岡小三年 木村幸子

さふとる
柿岡小三年 木村幸子

ほのほのとして、あたたかい作
品です。

ご応募いただきたいと思います。
お二人とも、これからも家のお手伝
いに、野菜つくりや仲人さんに頑張っ
てください。

増 やして欲しいコーナー。

- ① 面白い話、写真などを送る。
 - ② 子どもが喜ぶまちがいがし。
 - ③ はがきの一等賞。
 - ④ 八郷の仲間を知るために交通コーナ
ー。
 - ⑤ ワンちゃんあげますコーナー。(捨
て犬がすくなくなる)
- みんなが広報やさどを見てくれるた
めに考えました。
- 係では少しでも多くみなさんに読
んでいただける、親しみやすい広報つ
くり頑張っていますので今後とも
よろしく願っています。

上林 伊東紀江 (15歳)
紀江さん、楽しいアイデアをたく



フラワーパークの
入場券がペアで当たるよ

広報クイズ 54

3つの答えの中から正解を選び
ハガキに書いて送ってください。

①学校週5日制、毎月いつの土曜
日が休み？

- (A)第1土曜日 (B)第2土曜日
(C)第3土曜日

②今年、満90歳以上のお年寄り
は何人？

- (A)93人 (B)98人 (C)103人

③八郷町が都市計画区域の指定を
受けたのはいつ？

- (A)8月15日 (B)9月1日
(C)9月15日

【応募の方法】

☆ハガキに広報クイズ54と書き、
答えの記号(例1-A)、住所、氏名、
年齢、世帯主と「私もひとこと」
へのご意見や広報の感想などを書
いて送ってください。イラストや
マンガも大歓迎。

☆全問正解者の中から10名にフラ
ワーパークの入場券をプレゼント
します。

☆締切日 平成4年10月15日

☆応募先 〒315-01 八郷町柿岡
2009-3 八郷町役場秘書広聴課

☆当選者の発表 本紙11月号

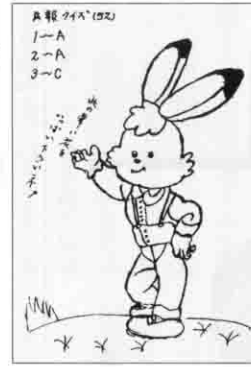
【広報クイズ52の当選者の発表】

正解は1-A, 2-A, 3-Aでした。
応募22通、正解21通の中から次の
10名が当選しました。

松本記代子(真家) 滝本理江(柿
岡) 富田順子(大塚) 金子慶子(宮
ヶ崎) 木村良重(上曾) 大槻登美
(東成井) 富田静(下青柳) 鈴木
智一(小山田) 森田あい(大増)
伊東紀江(上林) =敬称略=



RAMU



月岡 萩原志づ



真家 松本真規子 (11)

●やさと文芸

短歌

主音を聞きつつ食べたすいとんを作りて孫と戦争を語る

月岡 萩原照子

田植機のハンドル握り老いわれの今年も植えり鏡田に来て

青田 関好雪

わが上を夜半に成田に帰りゆくジャンボ機は夏の日に輝う

東成井 小池亀太郎

俳句

巨いなる神の杉なり蟬時雨

真家 長谷川雅吾

万緑の上へ突りて筑波山

山崎 小松みき

こぼれてはつくりては咲く百日紅

東成井 中野谷昌男

俚謡

土で育つて世に出りや甘い人に好かれるさつま薯

山崎 小松みき

昔話も為にはなるが耳を貸さない人の数

東成井 小島せん

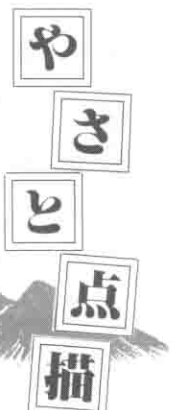
茄子や胡瓜のお馬に乗せて孫子手をとりに送り盆

上曾 足立喜一郎

吉田次郎選



刈り入れ前の稲の上をゆつくり
と舞うシラサギ。水田に有害なサ
リガニなどを好む益鳥(下林地内)



「まち」の「話題」で「き」ごと

身近な出来事や地元の話をおよせください
 (連絡先・秘書広聴課 内線 二二二)

富田さん母子よい歯コンクールで優秀賞

「健康は歯から」をメインテーマに第一回茨城県民歯科保健大会が、八月二十六日、県民文化センターで行われました。大会席上、第十二回茨城県母と子のよい歯コンクールの表彰が行われ、当町から上林の富田信子さん祐介君(四歳)母子が優秀賞を受賞しました。

祐介君は、甘い物が大好き。信子さんは祐介君の歯の健康に、かなり気をつけているということで、朝晩かならず信子さんが磨いてあげ、そのあとで自分で気がすむまで磨くそうです。

なお、同じく大会席上、歯の衛生に関する図画・ポスターコンクールの表彰があり、有明中学校一年生の吉岡晴美さんが佳作に入選しました。



大塚さん民謡大会で総理大臣賞に輝く

小幡の大塚友江さんが、両国国技館で三日間にわたり行われた平成四年度民謡民舞春季大会に出場、内閣総理大臣賞に輝きました。

大会には全国から予選を勝ち抜いた三百七十八名が参加。年齢別九部門に分かれ、自慢ののどを競いました。大塚さんは、その中の成年の部で優勝を果たし、最終日にそれぞれの部門の優勝者九人による内閣総理大臣賞争奪戦が行われ、み

ごと優勝したものです。

大塚さんは、本格的に民謡を習い始めて十三年目と言うことで、当時は人前で歌うことなど、とてもできなかったと話していました。

内閣総理大臣賞を受けると、五年間は同大会はもちろん、他のコンクールにも出場できないと言うことですが、大塚さんは、五年後にまた挑戦したいと意欲的です。



加藤理香(19歳・川又さん)

今、幼稚園の先生になるため勉強中です。好きな男性のタイプは、いっしょにいて楽しい人。



ありがとうございます

町社会福祉協議会善意銀行預託金として、現金一万円

一主婦

◇この「主婦」と名の方からは、昭和六十二年を初めに、毎年現金が寄付されてきます。今回で合わせて十四万円になりました。本当にありがとうございます。



常総学院吹奏楽部が記念演奏会

このほど、常総学院高等学校の吹奏楽部が、音楽の都ウィーンで行われた「第二十一回ウィーン世界青少年音楽祭」へ参加、準グランプリおよびオーストリア国営放送大賞という輝かしい成果を納め、その記念演奏会を当町の中央公民館で行いました。

同部は、全日本吹奏楽コンクールで過

去三年連続金賞（二位）を獲得して、この世界青少年音楽祭への出場資格を得たものです。

当日は、同吹奏楽部の世界的な演奏を聴こうと、中学生をはじめ小学生や一般の方々多数が集まり会場はいっぱい。約二時間にわたるすばらしい演奏に、客席からは盛んな拍手が送られていました。

小幡地区でにぎやかに盆踊り

八月十六日、小幡地区では公民館（館長潮田左四郎）が中心となり、地区婦人会、小学校PTAなどの協力を得て、盆踊り大会を開催しました。

同地区では、数年前まで青年団が中心となり盆踊りを開催していましたが、ここ数年青年団活動が衰退、盆踊りも開かれなくなっていました。

そこで、学校週五日制導入などに伴う親子の触れ合いの場や地域住民のコミュニケーションの場をつくらうと、このほどの盆踊り開催となったものです。

当日は、地区の人たちのほか、お盆で里帰り中の人たちなど、約四百人が参加。午後七時から二時間、にぎやかに踊りの輪が広がられました。

小平記念教育資金が小幡小学校に

財団法人小平記念会が、健康で豊かな人間性をもつ児童生徒を育て、県の基礎教育の振興のため「小平記念教育資金」として、毎年県内の小中学校の中から、基礎教育に顕著な成果を納めた学校に対し、一校あたり五十万円の援助を行っています。

今年も、この教育資金が県内の小学校八校と中学校四校に贈られ、当町からも小幡小学校が該当、五十万円を贈られました。

小幡小学校では、現在、資金の使い道を検討中、教育振興に役立てたいということです。



男性最高齢の久保田静一さんは、九十七歳のいまでも毎日清酒二合を飲んでるそうです。写真を撮りに訪問した時、白いヒゲとピンクに染まった顔が印象的でした。「お昼に酒を少し飲んだから」と奥さんの弁。「この年になるとなにもすることないでね」と本人。

久保田さんの職業は画家。七十歳まで絵筆を握っていたそうので、見事な作品が居間に所狭しと重ねてありました。最近では新聞を読み、テレビを見る毎日といえます。悠々自適な生活を一世紀にわたり送ってきた人の満足感が、立居振舞いにそこはかとなく漂います。

しかも久保田さんは慢性疾患が二つあります。胃弱とぜん息。だそうで、薬を手放しては、一日たりとも生活できないといいます。

筆者も慢性の心臓病、不整脈を持っており、酒類もすこぶる好物です。一病息災ならぬ二病息災の久保田さんを吾が身に置きかえれば、長生きも夢ではないと取材の帰路にニンマリ。今夜は長寿を願ってビールを飲もうと缶ビールを手にしたら「これでおしまい」と愚妻の声。長生きはできず。（岡）

快適な町づくりに向け

九月一日から都市計画区域に

今年の九月一日から、国有林と保安林の一部を除く八郷町の全域が、「八郷都市計画区域」に指定されました。都市計画区域とは、都市計画法の適用を受ける土地の範囲のことで、これらを基本として、町づくりを一体的総合的に整備・開発、または、保全する必要がある地域を定めるための都市計画を策定し、都市施設など(道路、公園、下水道等)の事業を実施していく区域のことです。

都市計画区域の指定を受け、今後、町民の皆さんが健康で文化的な生活をして、機能的な活動が営まれることを目的として秩序あるまちづくりを進めていくこととなります。

建築確認が必要となります

都市計画区域内では、建築物を建てる際に建築確認申請が、必ず必要になりますので、この点について、ご説明いたします。建築物を建てる場合(増改築も含む)には、建築確認申請を役場建設課を経由して土木事務所に提出し、その内容等が建築基準法に適合しているかどうか

確認を受けてから工事に着手することになります。

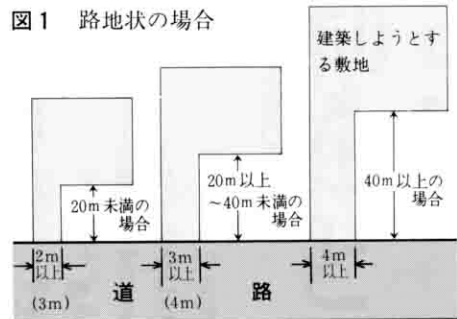
建築確認で受ける規制

●建築物の接道の義務

建築物(付属する門、塀なども含む)を建てようとする敷地は、原則として幅員四メートル以上の道路に二メートル以上接していなければなりません。(図1参照) 建築敷地が路地状部分(道路までの通路)によって道路と接する建築物の延べ面積により、道路に接する路地の幅員が異なってきました。(図1参照)

一・八メートル以上四メートル未満の道路沿いに建築物を建てる

図1 路地状の場合



* 敷地内の建築物の延べ面積合計が、200㎡を超える場合は(1)の幅員が必要です。

場合は、道路の中心から二メートル後退したところが道路との境界線とみなし、門や塀を含むすべての建築物を後退して建てなければなりません。(図2・図3参照)

※建築物を建てる場合には、必ず道路の境界確認をしてください。

これは、四メートル未満の道路沿いに家が建ちならんでしまうと火災など万一の災害や地域の生活環境の整備を図るために、将来道路を拡幅しようとする時に、障害になってしまうことを防いだりするために、定められた基本的な規制です。

図2 通常の場合

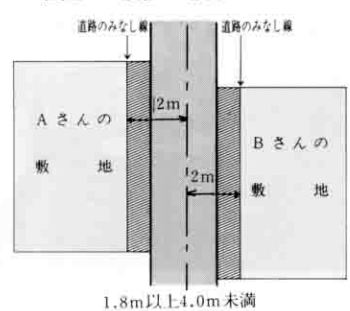
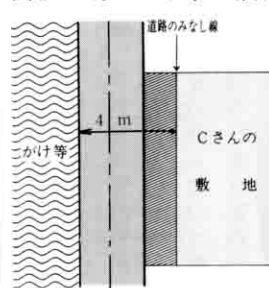


図3 一方ががけ等の場合



建ぺい率と容積率

建物を建てる場合に、建ぺい率と容積率の制限があります。(図4・図5参照)

図4 建ぺい率

建築面積の敷地面積に対する割合 = 70%



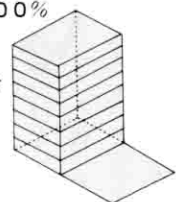
(100坪の敷地には、建坪で70坪まで建てられます。)

(図4・図5参照)

図5 容積率

建築延べ面積の敷地面積に対する割合 = 400%

○敷地の半分に建築する場合



(100坪の敷地には、延べ面積400坪までの建築物が建てられます。)

*これは、日照とか通風などを考えて決められているもので、こうした建築確認によって受ける規制は、私たちの住む生活環境を整備し、快適な住環境をつくるための基本的な最小限の規制ということがいえます。

以上が建築基準法に基づく建築確認についての概要です。

詳細につきましては、役場建設課(☎内線一八二)にお問い合わせください。

なお、都市計画区域内においては、土地売買等の取引をする場合や宅地開発を行う場合、許可や届出等の基準面積が引き下げられますので、詳しくは役場企画開発課(☎内線二三三)にお問い合わせください。